

農業コース

ジャガイモの植え付け作業

1 ジャガイモ

ジャガイモはナス科多年草で原産地は南米アンデス高原地帯と言われています。食用部位は根とされていますが、塊茎（地下茎）になります。同じに芋と表現されるサツマイモは植物体としても別のヒルガオ科の植物で食用部位も塊根です。

ちなみに、ジャガイモの日本での呼び方は、「ジャカルタから来た芋」が「ジャガタライモ」となり、ジャガイモになったと言われていますが、定かではありません。北海道での呼び名、「馬鈴薯（ばれいしょ）」は、馬がつけている鈴の形に似た芋から来たと言われていますが、これも定かではありません。

2 植え付け

① 圃場準備

ジャガイモの栽培は、「マルチ栽培」で行います。圃場を耕し、畝を作りそのまま栽培するところも多くありますが、本校では春先の寒さ対策も兼ね「マルチ栽培」です。

【マルチの効果】

- ・地温上昇、保温効果
- ・水分の流出防止
- ・土壌、養分の流出防止
- ・雑草防除

などの効果があります。



肥料を施し、耕したのちに「黒マルチ」をはります。黒マルチの利用には意味があり、芋が育つ際に芋に日光が当たらないようにするために効果があるからです。光を当てない理由は、後半に説明します。

② 植え付け

マルチをはったら、マルチに穴をあけ種イモを植え付けていきます。植え幅はおよそ30cm、深さ5cmが目安です。

種芋も大きさによっては切って植え付けます。種芋の大きさは50g位にします。切り方は色々ありますが、本校では、断面積が極力小さくなるように芽の位置を確認して切ります。断面には藁灰をつけ、断面の乾燥保護をしています。



植穴に種芋を入れたら、覆土をします。マルチの植穴が完全に隠れるまでしっかりと覆土しましょう。

これは、風によりマルチが剥がされないようにするためです。芽が出てきてしまえば、植物体が、この役目を果たしてくれます。

③ 発芽・芽かき

発芽し、種芋から多くの芽が出てきたら、最も成長の良い1本を残してその他の芽をすべて取り除きます。ジャガイモは塊茎（地下茎）を食べますから、地上部が大きく育つことにエネルギーを使われないようにするために行います。



芽が出てきました



芽かきします

④ 現在



大きく育っています。順調なので、6月中には収穫が出来るかな。ちなみに、本年度の栽培品種は、

男爵 メイクイーン キタアカリ

です。

⑤ その他

・黒マルチ利用

本校で黒マルチを利用する大きな理由としては、芋に光を当てないためです。ジャガイモは、栽培中や収穫後、光にさらしたり傷をつけたりすることでストレスを受けます。そのストレスをきっかけに、天然毒素であるソラニン・チャコニン(ステロイドアルカロイド)を生成するのです。その毒の大半は、ジャガイモの緑色の部分や芽の根もとから発生し、およそ8割の毒は、ジャガイモの表面上に形成されます。緑色になっているジャガイモは危険ですので食べないでください。量によっては命の危険があります。

・噂話

ジャガイモは、**大航海時代**に世界に運ばれ世界中で食されるようになった植物です。ジャガイモの流通により飢餓を防いだとも言われていますが、**船乗り**の中では、「**悪魔の実**」とも言われていたそうです。空腹のため、船中で保管していたジャガイモを食べたら、嘔吐や下痢を起こし死んでしまうことがあったからです。保管方法が確立していなかったからです。

「大航海時代」「船乗り」「悪魔の実」・・・？

なんか、聞いたことのある設定ですね？多分有名なマンガは、ここにヒントをもらっているのではと思います。